

ふじた

心臓血管センター開設のお知らせ
健康コラム
「外来薬物療法センターのご紹介」
感染対策室より
お知らせとお願い
Information

F U J I T A H E A L T H U N I V E R S I T Y H O S P I T A L

特
集

心臓血管センター開設

のお知らせ

食生活やライフスタイルの欧米化に伴い、冠動脈の動脈硬化を原因とする心筋梗塞、狭心症は急速に増加し、これらに対するカテーテル治療やバイパス手術の社会的要請は高まっています。

当院では、心臓血管外科と循環器内科の“ハートチーム”による経カテーテル的大動脈弁置換術（TAVI）で、大動脈弁狭窄症（AS）の治療成績や予後も大きく改善しています。

今回、これまで以上に低侵襲かつ、高度な治療を提供するため、平成29年8月10日に循環器内科と心臓血管外科の協力による「心臓血管センター」が藤田保健衛生大学病院に立ち上がりました。

藤田保健衛生大学病院 心臓血管センターの特徴

- ① 高度な機能を持つ「ハイブリッド手術室」を日本で**最大の5室完備**。
世界で初めて導入された**高性能CT アンギオ装置**を配置。
- ② 低侵襲画像診断・治療センターに世界最高水準の超高精細CT装置の**世界第一号機**を含め、**320列CT装置合わせて4台**、**MRI装置4台**などの画像診断装置を配置。
- ③ 昨年度の手術室での**手術数12,500件以上**。
心臓以外の疾患を合併している患者さんの心臓病、血管病治療を得意としている日本でも数少ない医療機関の1つ。
- ④ 循環器内科では2016年の狭心症、心筋梗塞に対する**カテーテル検査1,507件**、**カテーテル治療550件**、**心臓CT1,047件**、不整脈に対する**カテーテルアブレーション232件**、心臓血管外科との協力で**TAVIおよびBAV（バルーン大動脈弁拡張術）60例**などを施行。
心臓血管外科では**369例の心臓・大動脈の手術**を施行したなど、あらゆる心臓病、血管病に対応。

外来薬物療法センターとは…

安全に抗がん剤や生物製剤の治療を行うための専門の中央診療部門です。がん薬物療法専門医、がん化学療法認定看護師、がん専門薬剤師、管理栄養士、がん相談員、歯科衛生士などの各職種が専門性を発揮することにより安全で質の高いチーム医療を行っています。



がんと診断されたときから緩和ケア

早い段階から緩和ケアを行うことで、長生きできるということがわかってきました。緩和ケアというと「痛み」を思い浮かべる方が多いと思いますが、疼痛だけではなく

栄養をバランスよく摂ること、筋肉量を維持することで長生きできる、あるいは再発しにくくなるということも言われています。このような栄養、筋肉量の維持も緩和ケアの一つです。私たちは早い段階から管理栄養士による栄養相談と高精度体成分分析装置による体重や筋肉量、体脂肪量、そして体内水分量の測定を行い、継続的に評価していくことを勧めています。栄養相談や体成分分析は、外来薬物療法センター内で行っています。

また、がんと診断されて経済的なことや仕事など社会的な不安を覚える方もいます。このようなことについてはがん相談員が的確なアドバイスをしますが、これも緩和ケアの一つです。がんと診断されたときは、一度外来薬物療法センターにお越しいただき、がん相談員にいろいろ相談されることをお勧めします。

がんの治療に伴い、食欲が低下し、食事が減ってしまうことがあります。治療の継続や生活の質を維持するためには、栄養状態を維持することが大切です。

当院では、①体成分分析 ②栄養相談のご案内により、がん患者さんの食生活のサポートを行っています。

①体成分分析

筋肉量・体脂肪量・体脂肪率・体内水分量を測定します。

これらを測定することで、栄養状態の確認がしやすくなります。



高精度体成分分析装置

②栄養相談

栄養・食事についてのご相談をお受けします。

〈相談例〉

- どんなものを食べたらいいのかわかりたい
- どれくらい食べたらいいのかわかりたい など

*必要に応じて、栄養補助食品サンプルやパンフレットをお渡しします。

*ペースメーカーのある方は体成分分析が出来ないため、栄養相談のみ行わせて頂きます。

体成分分析・ 栄養相談 のご案内

実施場所 A棟2階
外来薬物療法センター内

費用 保険点数での費用の負担

*栄養相談：初回260点 二回目以降200点

*体成分分析：一回60点 同月二回目以降54点

※自己負担額が上限を超えている場合は
上記料金は算定されません。

患者さん、ご面会の方へ お知らせ と お願い

感染
対策室
より

当院では病院内での感染を防止するために、患者さんやご面会の方々に手指衛生（手を洗う、擦式アルコール手指消毒薬で手を消毒する）協力をお願いしております。病院内は様々な感染リスクが潜んでいます。感染リスクの元となる原因菌から身を守るため、また患者さんにうつさないためには、手指衛生を実施することが大切です。

病院内での
感染を防ごう！



石けん と流水での 手指衛生の方法

〔全行程時間〕
40~60秒

- 1 手を水で濡らす
- 2 全ての手の表面を覆うように十分な石けんをとる
- 3 手のひら同士で手を擦る
- 4 指を組み合わせ、右の手のひらを左の手背に当てる。そして逆も同様に
- 5 指を組み合わせ手のひらを手のひらに
- 6 (連結器のように) 連結させた指で指の後ろを反対の手のひらに当てる
- 7 右手のひらで覆った左の親指を回転させて擦る、そして逆も同様に
- 8 右手の固くした指で左手のひらの中で、前後しながら回転させて擦る、そして逆も同様に
- 9 水で手をすすぐ
- 10 単回使用のタオルで手を完全に乾燥させる
- 11 止水栓を止めるためタオルを使う
- 12 その手は安全です

擦式 アルコール 製剤での 手指衛生の方法

〔全行程時間〕
20~30秒

- 1 お椀形にした手に洗剤を全ての表面を覆いながら手のひら一杯にする
- 2 手のひら同士で手を擦る
- 3 指を組み合わせ、右の手のひらを左の手背に当てる、そして逆も同様に
- 4 指を組み合わせ手のひらを手のひらに
- 5 (連結器のように) 連結させた指で指の後ろを反対の手のひらに当てる
- 6 右手のひらで覆った左の親指を回転させて擦る、そして逆も同様に
- 7 右手の固くした指で左手のひらの中で、前後しながら回転させて擦る、そして逆も同様に
- 8 一旦、乾かせばその手は安全です

手指衛生は、どのタイミングでおこなう必要があるの？

病院において手を洗う事が必要な場面は5つあります。これらの場面では手指衛生を実施していただく事が重要となります。

5つの
タイミング

- 1 お部屋に入るとき
- 2 患者さんに触れるとき
- 3 食事介助、トイレ介助のとき
- 4 お部屋から出るとき
- 5 患者さん周囲の物品に接触したとき

私たちは、手指衛生の重要性を啓発し、患者さん・面会の方々と一緒に参加型の手指衛生を推進していこうと考えています。「手はいつ洗えばいいの?」、「職員で洗っている人と洗っていない人がいるよ」など、ご質問やご指摘があれば、何なりと周囲の医療スタッフにお声掛けください。

病院内での感染を防ぐために、手指衛生のご理解とご協力をお願いします。

いこいの広場コンサート

藤田保健衛生大学病院内1階ロビー

10/
21(土)

14:00~15:10

二胡とブラスバンドとともに

11/
25(土)

14:00~15:10

女声合唱とフラダンスと
女声コーラスとともに

患者さん向けがんセミナー

藤田保健衛生大学病院外来棟4階403

10/
2(月)

11:00~12:00

前立腺がんの検査と治療

11/
8(水)

11:00~12:00

筋肉の衰え(サルコペニア)を
予防する栄養サポート

詳細については、院内掲示ポスターにてご確認ください

世界肝炎デー in ふじた2017

2015年より毎年7月28日に「世界肝炎デーinふじた」を開催し、肝炎グッズ(うちわやポケットティッシュ)を来院された1000人の方に配布し、市民公開講座、個別相談会を行っています。今年のテーマは、2つです。一つは、C型肝炎の治療が進歩し、のみ薬だけで、副作用がほとんどなく、9割以上の患者さんが治るようになったということです。ウイルス性肝炎の患者さんの3割は感染に気づいていません。自覚症状がないため、肝硬変や肝がんに行進している人が少なくありません。ぜひ肝炎ウイルス検査を受けてください。そして陽性であれば治療を受けてください。もうひとつは、脂肪肝です。肥満、糖尿病、高コレステロール血症、高血圧などに合併することが多く、1000~2000万人の患者さんがいます。このうちの1割は脂肪肝であり、肝硬変や肝がんに進展します。脂肪肝と言われたことのある方はぜひ一度専門医を受診してください。



ミッキーとミニーが当院を訪問しました!!

9月6日に、ミッキー・ミニーと東京ディズニーリゾート®・アンバサダーの福本 望さんが当院の小児病棟を訪問しました。東京ディズニーリゾート・アンバサダーとは東京ディズニーリゾートを代表する親善大使の



ことで、約20,000人のキャスト(従業員)の中から選ばれます。福祉活動として社会福祉施設や医療施設への訪問を行っています。

当日は、ミッキーマウスとミニーマウスが入院中の子ども達に向けてダンスを披露しました。また、病室では1人1人に挨拶と握手ができました。

© Disney